

コースを 終わる

For the Teachers

コース期間中の成果を振り返り、コース開始時に立てた目標を評価します。また、学習方法について学習者同士で話し合い、帰国後にも役立つ勉強方法について考えます。



流れ

自己評価をする（50分）

これからの学習計画を立てる（50分）

最後の学習相談（1人20分）

コース評価アンケート（クラス外）

自己評価をする Self-evaluation

コース全体を振り返って、自分の目標が達成できたかどうかを評価します。コースを始める時に書いた「自己目標」と、毎週の「活動の記録」を見ながら、「できた」かどうか、どうしてそう思うかを具体的に考えて、自己評価を「自己目標」の右側に書きます。

❖ 自己評価の記入例

	このコースでしたいこと	できたこと
日本語	<ul style="list-style-type: none"> 私は日本語の特徴を習いたいです。たとえば、カタカナ語と英語の発音のちがいを、よくわかりたいと思います。 日本人のように、日本語でうまくしぜんに言葉話せるようになりたいです。そのために、いろいろな日本人と話したいです。 	<p>→できた 毎日いろいろな店へ行って、買い物をしました。店の人と話してカタカナ語を習ったり、男性と女性のイントネーションのちがいがわかりました。</p> <p>→少しできた 学生や若者や大人や小学生などいろいろな日本人と話しました。小学生と話すことはむずかしかったです。</p>
体験	<ul style="list-style-type: none"> 日本はどんな国か、日本人の生活様式はどうか、テキストや先生から知っていますが、それを体験してわかりたい。 伝統的な行事に参加してみたい。たとえば茶道など。 新しい友人がほしいです。そのために授業の後、出かけます。 	<p>→できた 洋式の生活になれている若者とか和風の生活が好きなおとしよりの人を見て、だいたい日本の生活がわかるようになったと思います。</p> <p>→できた 茶道だけでなく着物も着ることができた。日本人の心が少しわかった。</p> <p>→できた 日本の若者だけでなく大人とも知り合いになって、日本語でメールをはじめました。</p>

これからの学習計画を立てる Making a Future Study Plan

学習者が帰国後も学習を続けていけるように、効果的な学習方法や今後の計画について教師や他の学習者といっしょに話し合います。また、「日本語未来マップ」を書くことで、日本語学習を続ける気持ちを強くします。

(1) 勉強方法について話し合う

これまで、どんな方法で日本語を勉強してきたか、どんな方法が効果的かなどについて、学習者同士で話し、自分に合った方法を見つけます。

❖ 学習方法の例



テレビ・ラジオ

NHKのニュースなどを聞きながら、アナウンサーが言った言葉をすぐに自分でも言った。これで、発音と聴解がよくなった。

メモ・カード

わからない言葉が出てきたら、すぐに辞書で調べられるようにメモした。あとで、カードにして覚えた。



マンガ

マンガの日本語は簡単だし、おもしろいからたくさん読んだ。4コママンガは短くて読みやすい。



テープ

外国人が日本人からよく聞かれる質問の答えを、日本人に読んでもらって、ホームメイドカセットテープを作り、何回も聞いて覚えた。



漢字ノート

毎日3つずつ漢字をノートに書いて覚えた。



(2) 日本語未来マップを作る

最終的なゴールと、そこへ行くための短期目標と長期目標を立てます。また、そのために必要な勉強方法についても考え、シートに記入します。

日本語未来マップの記入例

にほんご みらい
日本語未来マップ *Chart for your future learning*

とお もくひょう
遠い 目標 Long term Target

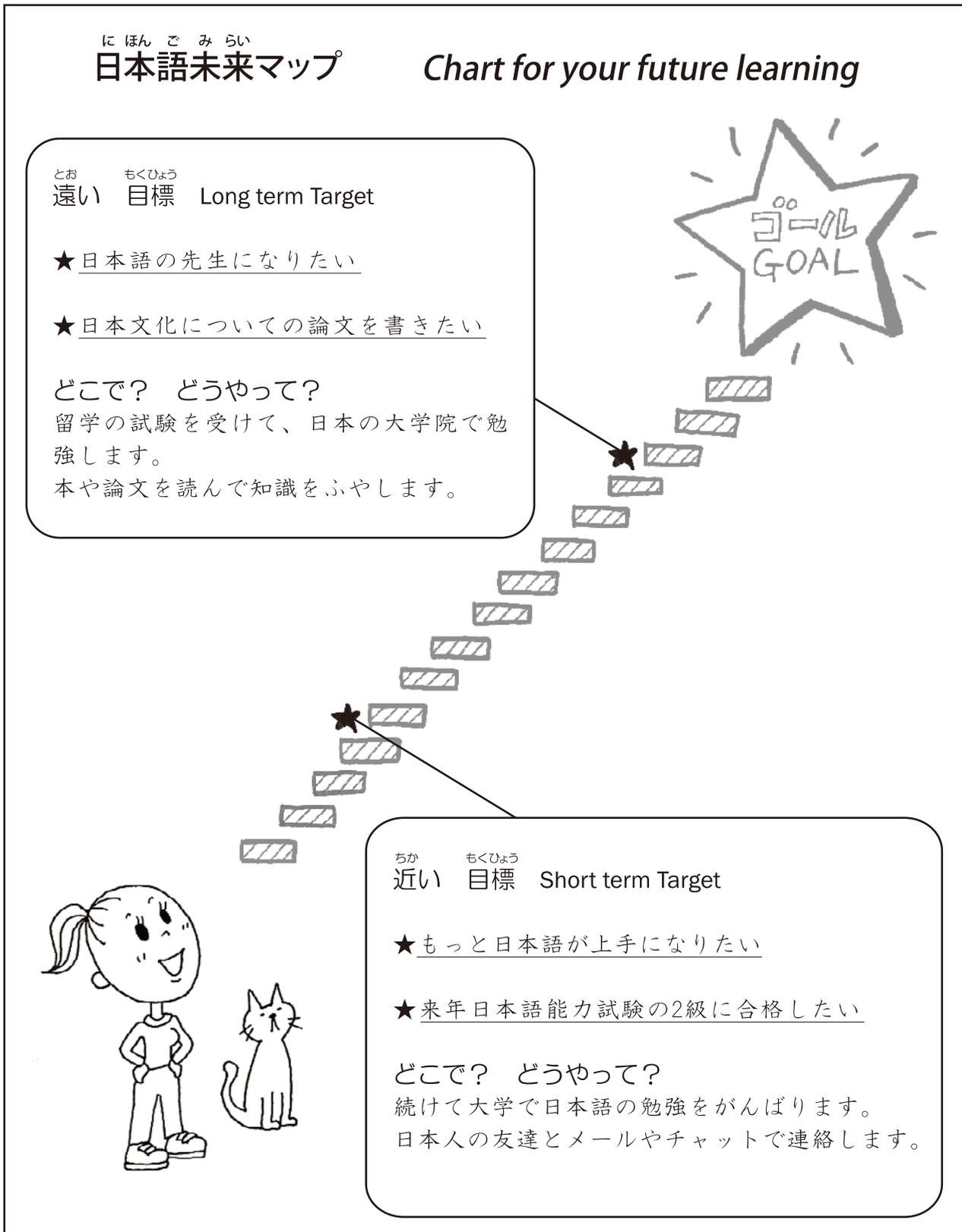
- ★ 日本語の先生になりたい
- ★ 日本文化についての論文を書きたい

どこで? どうやって?
留学の試験を受けて、日本の大学院で勉強します。
本や論文を読んで知識をふやします。

ちか もくひょう
近い 目標 Short term Target

- ★ もっと日本語が上手になりたい
- ★ 来年日本語能力試験の2級に合格したい

どこで? どうやって?
続けて大学で日本語の勉強をがんばります。
日本人の友達とメールやチャットで連絡します。



Worksheet

日本語未来マップ

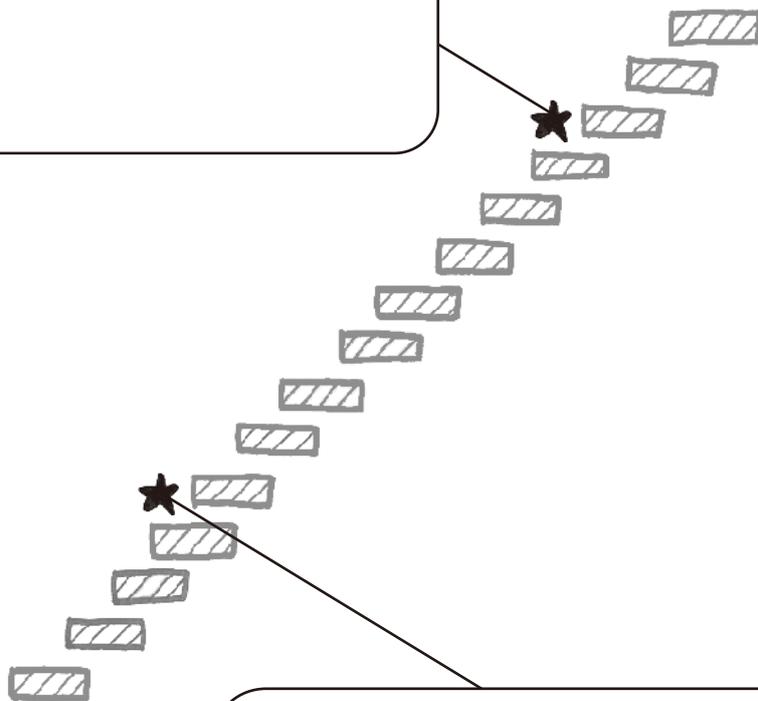
Chart for your future learning

とお もくひょう
遠い 目標 Long term Target

★ _____

★ _____

どこで? どうやって?



ちか もくひょう
近い 目標 Short term Target

★ _____

★ _____

どこで? どうやって?

最後の学習相談 Study counseling at the end of the course

学習者自身が行ったコースの振り返りと、これからの学習計画に対して、励まし、支援します。「コースの記録」として期間中のプログラムと学習者の提出物、教師のアドバイスなどをまとめて学習者に渡します。「コースの記録」は、自国でも日本語を勉強している場合、学習者の成長の記録として、自国の日本語の先生に見てもらおうといいでしょう。

❖ 学習相談の流れと質問例

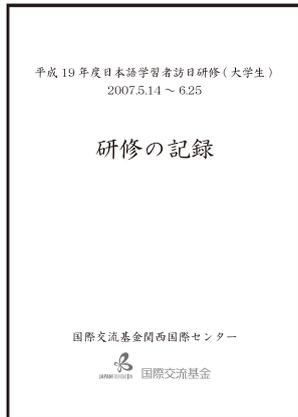
トピック	質問
コース全体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・コースはどうでしたか。 ・各授業はどうでしたか。 →どうして、そう思いますか。
日本語学習の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に来る前と今とで日本語の力に違いがありますか。 ・自分の日本語について、まだ足りないものがあると思いますか。 →どうして、そう思いますか。 →これから、どうすればいいと思いますか。
日本体験の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・日本での体験から、どんなことがわかりましたか。 →どうして、そう思いますか。
今後の学習計画	<ul style="list-style-type: none"> ・国に帰ってから、どのように日本語を勉強しようと思いますか。 →そのためには、どうすればいいですか。 →何が必要ですか。

Point !

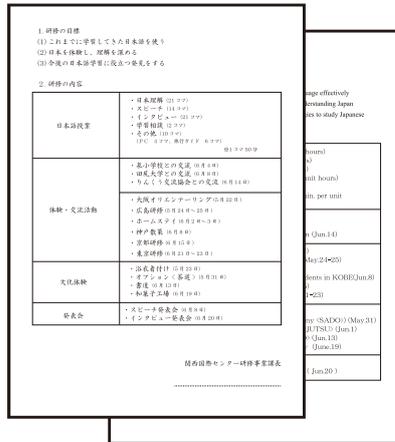
- ・教師は、学習者が気付いていない成果や問題点について、適宜コメントやアドバイスをします。
 - ・帰国後の学習に役立つようなウェブサイトを紹介します（書籍の注文、学習リソース、技能別の練習サイト、ふりがなサイトやポップ辞書などの読解支援サイト、日本語フォントの入れ方など）。関西国際センターの「NIHONGO eな」サイトを見てください。
- <https://nihongo-e-na.com/jpn>

「コースの記録」に入れるものの例

①表紙



②コースの目標と内容 (日英)



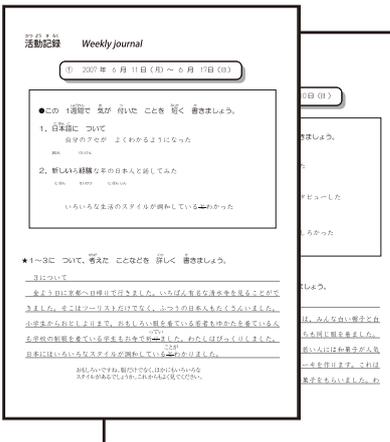
③自己目標と自己評価



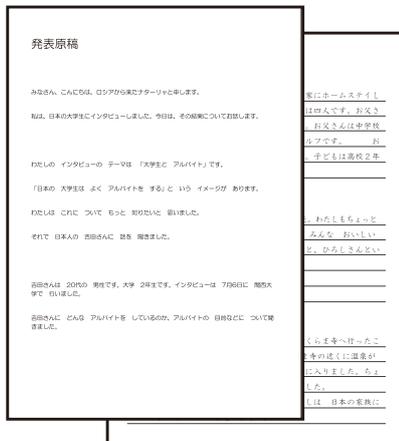
④日本語未来マップ



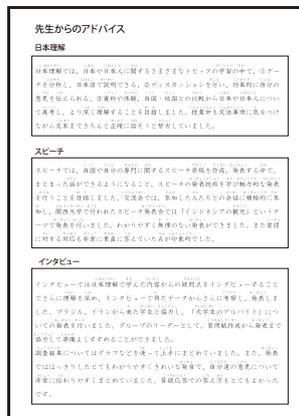
⑤活動の記録



⑥発表会の原稿、報告レポート、その他の提出物



⑦先生からのアドバイス



コース評価アンケート Course Evaluation

コースを評価するためにアンケートを実施し、その結果を次のコースに役立てます。

❖ 関西国際センターのコース評価アンケート例

平成20年度日本語学習者訪日研修（大学生 / 春季） コース評価アンケート

みなさん、日本での研修は どうでしたか。例の ように ○を つけてください。
また、意見や 感想も ぜひ 書いて ください。

満足 (satisfied)

4 3 2 1

←-----→

不満足 (unsatisfied)

満足度はプラス評価かマイナス評価が明確になるように4段階で

答え方の例 example

研修中の活動は どうでしたか。例) 大阪オリエンテーリング

4 ③ 2 1 ←○をつけて ください

【研修全体について】 Overall Evaluation

1. この研修は どうでしたか。 4 3 2 1

意見や 感想が あれば 書いて ください。

.....

.....

まず、全体的な評価を聞く

【日本語について】

2. この研修の目標は 三つでした。 This program had 3 goals.

(1) 日本語を 運用する Use Japanese effectively

(2) 日本を 体験し、理解する Experience and understand Japan

(3) 今後の日本語学習への 発見を する Find useful strategies to study Japanese

コースの評価はコース目標が達成されたかどうかで決まるので、参加者にダイレクトに聞いてみる。

①この研修で、今までに 勉強して きた 日本語を 十分に 使えたか と思いますか。

○を つけて ください。

In this program, did you use Japanese which you had learned before coming to Japan?

4 3 2 1

1または2と 答えた 人：それは なぜですか。

For those who checked 1 or 2, please write the reason.

.....

この後、個々の活動や科目について聞く。